

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
家庭	家庭基礎	文系 理系・2年	2
教科書	[主たる教材] 実教出版 新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来		
副教材等	[副教材] 第一学習社 2018最新 生活ハンドブック 資料&成分表		

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ①知識，技能の習得に向けて
実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指す。
- ②思考力，判断力，表現力の育成に向けて
生活課題を解決できるように問題解決的な学習をし，意見交換や発表の場を設ける。
- ③学びに向かう力の涵養に向けて
学んだ知識と技術を生かし，家庭生活や地域の生活を見つめ，主体的に課題を見だし，これを改善充実しようとする積極的な態度を育てる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	【1編】 人とかかわって 生きる (1章) 自分らしい生き 方と家族	教科書 資料集 授業プリント	・生活設計について生涯発達の視点から考える。 ・男女ともに、家庭・地域・労働に関わることの重要性を認識する。 ・家族との関わりについて考え、時代とともに変化する家族・過程の役割・意義と問題点を考える。 ・職業労働と家事労働、ワーク・ライフ・バランスの実現の重要性、職業意識を高める。	6	授業の取り組み 授業プリント 定期考査
5	【2編】 生活をつくる (1章) 食生活をつくる	教科書 資料集 授業プリント	・日本の食生活の現状を知り、自分の食生活の自立につなげる。 ・栄養素の種類とはたらきを知り、健康との結びつきを理解する。またライフステージ別の献立の特徴を知る。 ・表示の見方や意味を知り、衛生・安全性を考慮した食品の選択ができるようにする。 ・日常食の食事の整え方や調理の基本的技術を身に付け、実践できるようにする。 ・日本の食生活と、海外・環境との関係や課題を理解し、解決のための方策を知り、実践できるようにする。	13	授業の取り組み 授業プリント 定期考査
6	定期考査				
7	【2編】 (2章) 衣生活をつくる	教科書 資料集 授業プリント	・ライフステージ別の衣服の特徴を理解する。衣服の機能、衣服の素材を理解し、着用目的に応じて衣服の洗濯・着用ができるようにする。 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意味を理解し、自分の身のまわりの生活課題を見つけ、調査・研究の計画を立て、実践する。 ・ホームプロジェクト発表会 ・衣服の購入から廃棄まで、適切な管理の方法や衣生活に関する環境問題について理解し、解決のための方策を知り、実践できるようにする。 ・裁縫の基本的技術を身に付け、衣服の裾上げやボタン付けができるようにする。	11	授業の取り組み 授業プリント 定期考査 提出課題
8	ホームプロ ジェクトと学 校家庭クラ ブ活動				
9		裁縫練習キ ッド			
10	【1編】 (2章) 子どもとか かわる	教科書 資料集 授業プリント	・子どもと適切に関わるという視点を意識できるように、子どもの生活の特徴を理解する。 ・子どもの発育・発達を促すために、保育者との関係が重要であることを理解する。 ・子育てを支える社会的な仕組み、子どもの権利を保障する仕組みについて理解する。	8	授業の取り組み 授業プリント 定期考査

11	【1編】 (3章) 高齢者とかかわる 定期考査	教科書 資料集 授業プリント	・日本の高齢化の現状を知る。加齢に伴う変化と、個人差があることを理解する。 ・介護を社会で支えることの重要性を知る。介護保険制度の仕組みを理解する。	5	授業の取り組み 授業プリント 定期考査
12	【1編】 (4章) 社会とかかわる 学校家庭クラブ活動	教科書 資料集 授業プリント	・日本の社会保障制度の仕組みを理解する。 ・ノーマライゼーションの考え方を知り、地域の一員として支え合うことの重要性を理解する。 ・ボランティア活動の意義を理解する。 ・少子高齢社会が進む地域の一員として、子どもや高齢者との関わりを中心に、支え、支え合う大切さをグループ等で共有し、実践内容を考え、実践する。	5	授業の取り組み 授業プリント 定期考査
1	【3編】 消費者として自立する (1章) 消費行動を考える	教科書 資料集 授業プリント	・意思表示のプロセスを意識しながら、主体的な消費行動ができるようにする。 ・契約の意味と不当な契約の解除方法を理解する。 ・消費者信用について理解し、将来慎重な消費生活が求められることを知る。 ・消費者として各自が権利の主体としての意識を持ち、行動することが消費者の責任につながることを理解する。 ・各自の消費行動・ライフスタイルにおいて発生する環境問題に気づき、それを解決するための方策を知り、実践することが、持続可能な社会につながることを理解する。 ・収入を考えた家計管理ができるようにする。 ・将来、長期的な生活設計を考えるうえで、経済的な自立が重要であることを認識する。	8	授業の取り組み 授業プリント 定期考査
2	(2章) 経済的に自立する 定期考査				
3	【2編】 (3章) 住生活をつくる	教科書 資料集 授業プリント	・住空間の機能を理解する。また、平面図を読み取ることができるようにする。 ・健康、安全に配慮した室内環境の整え方を理解し、各自が実践できるようにする。ライフステージに応じた工夫を理解する。 ・地域で暮らす住民として、地域のまちづくりに関心を持てるようにする。	8	授業の取り組み 授業プリント 定期考査

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

・授業プリント、実習課題の提出 ・長期休業中に課題を課すこともあります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な程度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み(授業態度、グループ活動や実験・実習への参加状況など) ・提出物の提出状況とその内容 ・定期考査 などから総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

一人の生活者として自立し、人生を健康的で豊かなものにするための知識や技術が身に付けられる科目です。生涯を見通し、自立して生活する能力と、様々な人とつながり共に生きる力を身に付けるため、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費にかかわる基礎的・基本的な知識と技術を身に付けましょう。(担当:真島 希)